

かぶせ物の種類

かぶせ物には保険適用の材料と保険適用外の材料があります。主な違いとしては「費用」「見た目」「強度」「健康への影響」です。もちろん保険診療のほうが治療費を安く抑えられます。しかし長い目で見た場合、費用や体への負担を考慮すると、保険診療が必ずしもベストな選択であるとは言い切れません。当院では、患者さまにとってベストな選択ができるよう、治療や処置に関する様々なメリット・デメリットをお伝えします。

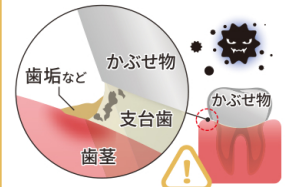
金属不使用 (メタルフリー)	 保険適用外			 保険適用 保険適用外
	ジルコニアセラミック	e-max	ジルコニア	CAD/CAM冠
適応歯	すべての歯	すべての歯	白歯	すべての歯(条件あり)
表面性状	セラミック焼き付け	二ケイ酸リチウムガラス等	ジルコニア	セラミックと樹脂(プラスチックと同様)
審美性	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆
耐久性	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆
2次むしば	なりにくい	なりにくい	なりにくい	なりやすい
金属アレルギー	なし	なし	なし	なし
費用	保険適用外	¥121,000	¥99,000	¥77,000
	保険適用	-	-	-
特徴	表面にセラミックを焼き付けることにより、左右前後の歯で対称にできます。審美性は極上です。経年による 変色はありません 。	透明感があり、前歯におススメです。経年による 変色はありません 。	白くて強度があり、白歯におススメです。経年による 変色はありません 。	⚠️ 表面に傷がつきやすく、ざらつきに汚れが付着するため、2次むしばのリスクが高まります。 経年と共に黄色く変色します。

かぶせ物の構造








かぶせ物をする際、欠損の多い支台歯(コア)は築造する必要があります。

●ファイバーコア・メタルコア ¥5,500 (左表の料金とは別途要)



金属を使用したかぶせ物や、かぶせ物と歯の継ぎ目や支台歯の辺縁にステップ(段差)ができ、歯垢などが溜まりやすく、2次むしばのリスクが高くなります。

金属使用	 保険適用外	 保険適用外	 保険適用 保険適用外	 保険適用 保険適用外	 保険適用 保険適用外
	ゴールド	陶材焼き付け鑄造冠	レジン前装冠	金属冠	チタン冠
適応歯	白歯	すべての歯	すべての歯	白歯	大白歯
表面性状	金合金(18K)	セラミックと金属(金・銀・パラジウムなど)	樹脂と合金(プラスチックと同様)	合金(金・銀・パラジウムなど)	チタン
審美性	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆
耐久性	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆ (割れない)	☆☆☆ (割れない)
2次むしば	なりにくい	可能性あり	なりやすい	なりやすい	なりやすい
金属アレルギー	ほぼなし	可能性あり	可能性あり	可能性あり	ほぼなし
費用	保険適用外	¥121,000	¥45,000	¥40,000	¥40,000
	保険適用	¥80,000~(金価格により変動あり)	-	¥8,000 前後	¥6,000~¥7,000
特徴	歯へのなじみが最強です。目立たない白歯におススメです。	金属の表面にセラミックを焼き付けます。歯と歯茎の際が経年と共に黒くなってきます。裏(フレーム)が金属のため、咬み合わせが強い場合に適しています。	⚠️ 表面に傷がつきやすく、ざらつきに汚れが付着するため、2次むしばのリスクが高まります。 経年と共に黄色く変色します。	⚠️ 汚れが付着しやすく、2次むしばのリスクが高まります。	⚠️ 安価ですが、適合は少し劣ります。汚れが付着しやすく、2次むしばのリスクが高まります。